

平成30年度第16回社会学研究科委員会議事要旨

I 審議事項

1 平成31年度大学院博士後期課程第2次合・否決定について

研究科長より、博士後期課程入学試験第2次試験の合格者決定にあたっては、先ず進学者の決定を行い、その後、定員枠を勘案して編入学者の合格者を決定することとする旨、説明があった。

総合社会科学専攻については、進学者22名中、20名（平成30年度：19名）を合格者としてほしい旨提案があり、了承された。

総合社会科学専攻の、他大学からの編入学者の合格者について、12名中、6名（平成30年度：10名）を合格者としてほしい旨提案があり、了承された。

地球社会研究専攻については、進学者3名中、3名（平成30年度：4名）を合格者としてほしい旨提案があり、了承された。

地球社会研究専攻の、他大学からの編入学者の合格者について、3名中、3名（平成30年度：2名）を合格者としてほしい旨提案があり、了承された。

この結果、総合社会科学専攻については、入学定員35名に対して、合格者26名、地球社会研究専攻については、入学定員6名に対して、6名となり、社会学研究科博士後期課程の入学定員41名に対して、合格者32名（平成30年度：35名）になる旨、報告があった。

2 平成30年度大学院修士修了者合・否決定について

研究科長より、修士課程最終試験の合格者決定については、総合社会科学専攻60名（29年度：51名）地球社会研究専攻15名（29年度：17名）の合計75名（29年度：68名）を合格者としてほしい旨の提案があり、了承された。

3 その他